

2025年2月14日
DCMホールディングス株式会社

DCM・カインズ・高末、共同配送を開始 ホームセンター2社と物流企業による 物流効率化・CO₂排出量削減への取り組み

2025年2月17日(月)から、東海地方の物流拠点間において開始

全国でホームセンター事業、EC事業等を展開するDCMホールディングス株式会社(東京都品川区、代表取締役社長兼COO:石黒靖規)のグループ会社であるDCM株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:石黒靖規、以下「DCM」)、株式会社カインズ(埼玉県本庄市、代表取締役社長兼CEO:高家正行、以下「カインズ」)、総合物流企業の高末株式会社(愛知県名古屋市、代表取締役社長:高村徹郎、以下「高末」)は、2月17日(月)から東海地方の一部地域において店舗共同配送を開始します。店舗納品の共同配送により、空車走行距離・走行時間を短縮し、トラックドライバー不足の解消およびCO₂排出量削減を目指します。



【取り組みの背景】

DCM・カインズ・高末の3社は、働き方改革関連法案の施行によるトラックドライバーの時間外労働における上限規制など、いわゆる「物流2024年、2030年問題」を背景とした、深刻な人手不足やそれに伴う物流の停滞が懸念される中、安定的に商品を供給するための物流網の維持・構築に向けた協議や実験を継続してきました。

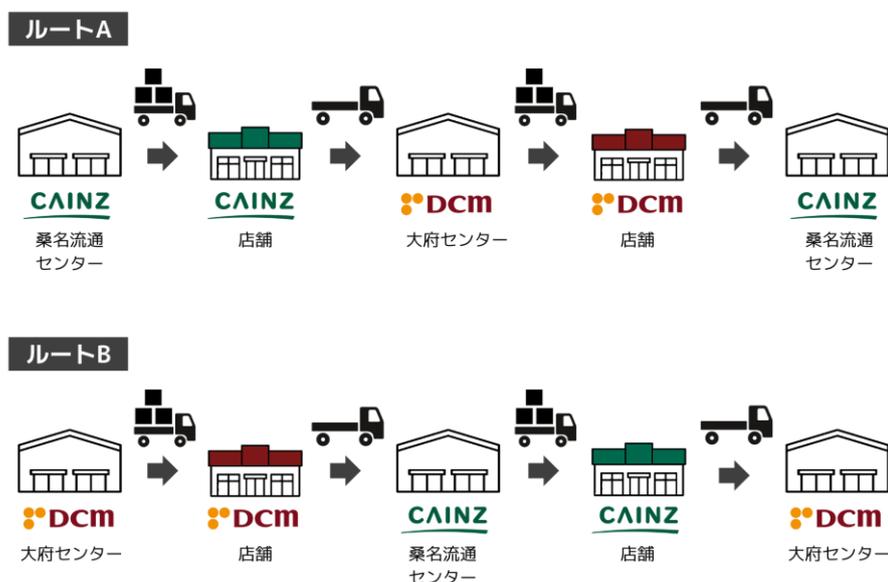
今回、配送拠点であるDCM大府商品物流センター(愛知県大府市)と2024年3月に稼働を開始したカインズ桑名流通センター(三重県桑名市)が、共同配送の効果を生み出しやすい位置にあり、かつ、ともに配送委託先が高末であることから、今回の共同配送の実現に至りました。

【共同配送の内容】

・概要 : DCMとカインズはそれぞれの物流センターから自社の店舗へ納品後、空車のまま、自社の物流センターに戻っていたところを、自社店舗へ納品後、協業相手先の物流センターで荷物を積み、協業相手先の店舗へ納品してから、自社の物流センターに戻ることで、空車走行距離・走行時間を短縮し、配送の効率化を実現するとともに、CO₂排出量削減につながります。

- ・開始日 :2025年2月17日(月)より
- ・配送地域 :岐阜県、愛知県、三重県、滋賀県
- ・運行回数 :週26運行(DCM22店舗、カインズ6店舗)
- ・削減CO₂排出量:約33.6t-CO₂/年(見込み)

【共同配送ルートイメージ】



【今後の計画】

DCMとしては、今後、この取り組みをさらに進化させ、同業他社および他業態企業も含めて他エリアでも展開し、安定的な物流網の維持・構築につなげてまいります。

以上

本件、画像などについてのお問い合わせは

DCMホールディングス株式会社

東京都品川区南大井 6-22-7 大森ベルポートE館

広報担当：平賀・常松

[MAIL] pr@dcm-hldgs.co.jp

[URL] DCMホールディングス株式会社 www.dcm-hldgs.co.jp/grp/
DCM株式会社 www.dcm-hc.co.jp/